



## ウェーディングシーバスの始める為の書

**【ご注意ください！】**

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意ください。

このレポートの著作権は齊藤真吾に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を

いかなる手段においても複製、転載、流用、転売等

することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記に記載された  
事項に同意したものとみなします。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を  
いかなる手段においても複製、転載、流用、転売等  
することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った場合、その他の不法行為に  
該当する行為を行った場合は、関係法規に基づき  
損害賠償請求を行う等、民事、刑事を問わず  
法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートの情報は作成時点での著者の見解等です。  
著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、  
見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、  
万が一誤り、不正確な情報等が有りましても  
著者及びパートナー等の業務提携者は一切の  
責任を追わない事をご了承願います。

このレポートを利用することにより生じた  
いかなる結果につきましても、著者及び  
パートナー等の業務提携者は一切の責任を  
追わない事をご了承願います。

#### 【推奨環境】

このレポートに記載されているURL はクリックできま  
す。

できない場合は最新のAdobeReader を下記のページより  
ダウンロードしてください。（無料）

[www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html](http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html)

## 目次

- ・はじめに
- ・弱肉強食の無法地帯
- ・ウェーディングに伴う危険

### 必要なアイテム

- ・ウェーダー
- ・ウェーディングシューズ
- ・ウェーディングジャケット
- ・ゲームベスト
- ・ライト
- ・フラッシャー
- ・エイガード
- ・ウェーディングスタッフ
- ・ホイッスル
- ・ウェーディングネット

## はじめに

こんにちは、しんです。

これからシーバスフィッシングを  
始められるあなたへ贈る、

【ウェーディングシーバスの始める為の書】  
を作りました。

あなたのシーバスフィッシングに  
役立てて頂けると嬉しいです。

少し長いですが、最後まで  
お付き合いくださいね。

では、ちょっと簡単に自己紹介。



ニックN      しん

出身          名古屋

生息地	三重県
誕生日	10月3日
所属	辰年
階級	1児のパパ
流派	ネコ派
仕事	運び屋
趣味	釣り全般
性格	真面目8：不真面目2 優しく温厚で争いを好まない

気は長く、負けず嫌い

妻 可愛くて取っ付き易い性格の  
誰からも好かれる料理上手

好きな言葉 未来だけが唯一変えられる！  
自業自得！  
夢追い人であれ！

いずれ**日本全国**を  
シーバスフィッシングで釣り歩くという  
ちっぽけでくだらない**野望**を持った  
シーバスアングララーです。

地球（ほし）と人との繋がりを探めて。

大自然の中に身を置き感じる。  
時には静かに、時には激しく生命と対話する。  
己の慣性を元に知的に歩む。  
その先に待つドラマへと！。

あなたもシーバスフィッシングを始めてみませんか？

という理念をソウルコピーとして

シーバスフィッシングをもっと世の中に

広めていきたい単なる釣りバカです。

よろしくお願いします。

詳しいプロフィールはこちら

↓↓

[www.seabass-live.link/?p=350](http://www.seabass-live.link/?p=350)

## 【弱肉強食の無法地帯】

実はウェーディングには  
けっこうな**危険**が伴うという事を  
あなたをご存知でしょうか？

サーフでの釣り、  
磯での釣り、  
ウェーディングの釣りには  
かなりの危険が伴います。

今回はウェーディングの  
始め方について詳しく

解説させてください。

よろしくお願いします。



**ウェーダー**とは

腰や胸の丈くらいまである、  
完全防水長ズボンの事です。

**ウェーディングシーバス**とは

よく漁師さんなどが履いている

そのウェーダーを履いて、**水の中に**

**立ち込みながらシーバスフィッシングを**

**する釣りスタイルの事。**

このウェーディングシーバス、

実は結構な危険が伴います。

**特に初心者のあなたは要注意。**

中級者の方ならば問題はないんですが

初心者の方の中には安全に対する意識が

低い方が数多くみえます。

まあこれは釣りに伴う危険を

まだ知らないという理由が

ほとんどなんですけどね。

これらの危険は釣りをしていく

中での経験によって学習していく

パターンが普通ですから。

そんなわけで初心者の方が

安全に対する意識が低いのは

ある意味、仕方のない事と言えます。

でもウェーディングとなると

これは知らないでは済まされません。

なぜならそれは、一步間違えば

**命を落とす事に直結する**から。

決して大げさな話はしていません。

ガチで危険です。

これは夜中に単独でウェーディングを

してみれば分かります。

**ウェーダーを履いて一步、**

**水の中に足を踏み入れれば**

**そこはもう法律の効力が及ばない**

弱肉強食の無法地帯です。

一人でのウェーディングを  
勧めているわけではないので  
勘違いなさらぬ様に。

慣れないうちは必ず熟練者に  
同行してくださいね。

## ウェーディングに伴う危険

では何故そんなに危険なのか？

あなたは耳を疑うかもしれません。

ですが聞いて下さい。

実は水の中には敵が居るんです。

主に**カキ殻**と**アカエイ**です。

カキ殻とはお鍋に入れたり

フライにしたりすると美味しい

あの牡蠣の貝殻の事。

このカキ殻の多いフィールドでは

もし転んで手でも付こうものなら

かなり深く手を切ると思ってください。

水の中でこのカキ殻に触れるのは  
空気中でカッターナイフの刃に  
触れるのによく似ています。

ですから、**いとも簡単に**  
ウェーダーに穴を開けます。

そして、アカエイ。

これは聞いたことが  
あるかもしれませんね。



沿岸部の砂泥底に生息するエイで  
主に貝類などを捕食します。

そのため、餌となる貝類や  
バチが多いフィールドでは  
かなり遭遇率が高いですね。

貝が好物なので汽水域を好みます。

そのため、河口付近での  
ウェーディングには用心が

**必要**になります。

あなたは知っているだろうか？

彼ら**アカエイ**は尻尾に毒針を  
**持っています。**

ですが、実は尻尾でああなたの  
足を刺すわけではないんです。

正確には毒針の付いた尻尾で  
自分の辺り一帯をなぎ払います。

つまり、自分の**射程距離内の**

**物に対して切り攻撃をします。**

そのため私達の足のような  
縦に立っている標的は狙いやすく、  
踏んでしまえば100%その攻撃を  
回避することはできません。

**その切れ味はウェーダーを  
切って足の皮膚を切るほど。**

そして、その傷口から  
毒が入ります。

**沖のほうでこの毒にやられると  
一人で陸に帰るのは難しくなります。**

私は用心しているのですが、まだ  
やられた事はないんですが、

経験者いわく、  
立っているのがやっとなど。

毒の効き具合は人によって  
個人差はあるでしょう。

でも、一人だった場合は  
携帯電話で海上保安庁へ助けを  
求めるか、その場で力尽きるか、  
潮が上げてきて溺れるかですね。

携帯のアドレス帳に海保の

緊急連絡先を入れておいてください。

番号は**118**です。

一人で陸へ戻れても救急車を

呼んだ時に必ずアカエイの毒に

やられた事を教えてください。

隊員や病院が迅速に対応出来ます。

さて、この**アカエイ**を避ける

**方法が2つ**あります。

一つは**ウェーディングスタッフ**という

杖を使って、あなたの進行方向を

突っつきながら歩く方法。

そして、もう一つは

ウェーディング時の基本なんですが

**すり足で水中を歩いて下さい。**

なぜなら、気配でアカエイが

逃げていくから。

基本、アカエイは異変を

感じると逃げていきます。

わざわざアカエイから

襲いかかって来ることはありません。

**ですが、**気が付かずにまっすぐ

あなたの方に泳いで来ることは

結構あります。

コレの対処法は主に2つ。

**まだアカエイとの距離がある時に**

**気づいた時はその場で足踏みを**

してください。

気が付いて進行方向を変えてくれます。

そして、**気づかずに間合いを  
1メートルほどに詰められてしまった  
時は絶対に動かないでください。**

ピクリとも動いてはいけません。

動いたら尻尾を振り回します。

全力で**ストラクチャーのふり**を  
してください。

ストラクチャーとは水中の  
障害物の事です。

そして、最近は結構**サメの**

**目撃情報**を聞きます。

もしあなたが**外洋に近いエリア**で

ウェーディングをするなら

気を付けてくださいね。

今年は日本海側にも

居たようです。

まず遭遇することは無いですけど、

いちおう対処法を。

最初から濡れるつもりで

**サメよけのウェットスーツ**を

着用して釣りをして下さい。

ちょっと恥ずかしいですが

ウェーディングには**ゼブラ柄を**

**オススメ**します。

ゼブラ柄と水色の迷彩柄がありますが

水色の迷彩は水中での効果は高いです。

ですが、これはサメの目を

ごまかすように造られているために

水面から半身出ている

ウェーディングでは

見破られる可能性があります。

でも、白黒のゼブラ柄は

**水中の猛毒生物を表現している**ので

こちらは水中でも、そうでなくても

関係ありません。



もう一つはフローティングベストの

濡れない部分に**単一の乾電池**を

いくつか忍ばせておいてください。

そして、サメがすぐ近くまで

寄ってきたら、その乾電池を

**手で持って水中に沈めてください。**

これで、20秒ほどサメを  
退けることができます。

乾電池を沈めながら陸まで  
逃げて下さい。

以上、ウェーディング時の  
危険とその対策方法でした。

## **必要なアイテム**

さて、ここからはウェーディングを  
するにあたって、必要になる  
様々なアイテムについて  
ご紹介させていただきます。

## 【ウェーダー】

はい、**完全防水長ズボン**ですね。



これには種類があります。

材質で**ざっくり分けて3種類**。

まずは**透湿素材製**。

これは動きやすく快適で  
しかもムレにくいという特徴を  
持っています。

ですが、少しお高めです。

続いて**ナイロン製**。

こちらはさっきのとは違って  
ムレまくりです。

真夏なんて、

「水は入ってこないけど、  
汗をかいてベタベタになるから  
結局ぬれるじゃん！」  
って言うくらいムレます。

薄っぺらくて軽いんですが  
その反面、水温をダイレクトに  
通すために水温が低い時は超寒い。

そして穴も空きやすいです。

次は**ネオプレン製**など。

ナイロンとは違い、分厚くて

重いです。

そのため保湿保温に優れ

暖かいので水温が低い時期に

助かります。

ですがやはりナイロンとは

違ってお値段が高いです。

そして動きにくいです。

こんな感じで素材によって

使う季節が変わってきますね。

そしてさらにウェーダーの  
タイプによっても2つに別れます。

ナイロンのように、ほとんどが  
ブーツにズボンを付けたような  
ブーツタイプ。

そして足の部分が靴下みたい  
になっているソックスタイプ。

ブーツタイプは重くて動きにくく  
あなたの足に合ったものを選ばないと  
ウェーディング中に足が  
痛くなったりしますね。

その代わりに、  
ウェーディングシューズを  
買う必要が無いので  
財布に優しいです。

ソックスタイプは快適で  
動きやすく疲れにくいです。

ですが、足首付近の守備力が  
ブーツに比べて低く、ウェーディング  
シューズが必要になるので  
ふところが寒くなります。

さらにウェーダーには

丈の長いものから短いものがあります。

これに関しては私達シーバス

アングラーが使うのはだいたい

**チェストハイタイプ**というものです。

**胸、脇の下くらいまでの**

**いわゆる長いタイプ**ですね。

ですからチェストハイタイプ、

もしくはそれに近い長さの

物をオススメします。

なぜなら、短いタイプの物を買うと

後から不便を感じて買い換える

事になるパターンが多いから。

そして、チェストハイタイプには  
腰ベルトとショルダーベルトが  
付いています。

これは**必ずしっかりと**  
**装着**してください。

ショルダーベルトはしていないと  
歩くたびにウェーダーが  
下がって来てウザいです。

腰ベルトは転倒落水した時に  
ウェーダーの中へ水が侵入するのを

防いでくれます。

ウェーダーの中に水が侵入すると

こんな不都合が発生します。

- ・足が太く、重くなるので動きにくい。

- ・陸に上がる時には水中とは

比ベ物にならないくらい重くなるので

陸に上がれない。

- ・海上保安庁が救助するときにも

重すぎて迷惑がかかる。

こういった、ろくでもない

不都合がいっぱい起こるので

ウェーダーに限らず全ての装備は  
しっかりと意味のある着用の  
仕方をお願いします。

そうそう、ブーツタイプの  
ウェーダーを選ぶならブーツの  
底のタイプはフェルト、出来れば  
**フェルトピンソールと呼ばれる  
靴底のものを選んでください。**

私の経験上この  
フェルトピンソールが  
一番安全で機能的だと  
考えるからです。

## 【ウェーディングシューズ】

こちらはソックスタイプの  
ウェーダーを購入された場合です。

ソックスタイプのウェーダーは  
軽くて動きやすいのが利点ですが、  
足を保護するものが無いので  
ウェーディングシューズが必要です。

実は気合いでいけますが、  
痛いし滑るし危険です。

ろくな事になりません。

そもそもそこに変な気合いは

必要ありません。（笑）

しっかりとシューズを履いてくださいね。

ウェーダーとウェーディング

シューズですが、最低限これらは

店頭へ行って、シーバスに詳しい

店員さんに相談しながら選んでください。

あなたが釣りをするフィールドや

フィールドの底の地質などを

話せば最適な物を教えてくれます。

そんなに安い買い物ではないし  
安全性に大きく影響するので  
後から後悔しないためにも  
最初は店員さんに聞いてください。

### 【ウェーディングジャケット】

こちらは**必須ではない**ですが、  
あると非常に便利です。

雨とか風が強くて水しぶきなどを  
被ってしまう時に重宝します。

レインコートでは少し役不足です。

ウェーディングジャケットなら  
転倒時などにも水の侵入を  
ある程度防いでくれますし、  
フローティングベストも着やすいです。

カッパよりはね。

このジャケットは個人的には  
丈の短い物をオススメします。

理由は使いやすから。

### **【ゲームベスト】**

ゲームベストとはルアーなどの

ゲームフィッシングに特化した  
フローティングベストの事。

これ一つであらゆる道具を  
装備出来るように造られていて  
重くてかさばりますが、**便利で  
必要不可欠なものです。**

主に腰ベルトタイプと  
また紐タイプがあります。

**最初に手にされるのなら  
また紐タイプをオススメします。**

また紐タイプとは“また紐”と呼ばれる

足の股を通すベルトが付いています。



コレをまたに通して、落水した  
時にベストが上に脱げてしまうのを  
防ぐもので、**しっかり付けてないと  
脱げてしまうので意味がありません。**

安く手に入るのでかなり  
オススメです。

いっぽう、

腰ベルトタイプはまた紐が  
付いていません。

身体にフィットさせて  
腰ベルトで固定する事によって  
脱げないようにします。

また紐が無いので一見  
楽なように見えますが、  
ゲームベストと言うのは基本  
衣類の一番上に装備します。

ですから、着る服の枚数が

変わるとベルトの長さを調整

しなければなりません。

コレをマメにやらないと

落水した時にベストがズレます。

するとベストが脱げないまでも

上にズレた状態になり、ベストは

浮いているけどあなたの口は

沈みそうみたいな状態に。

**中途半端に着ると余計に危険**です。

ですから、季節ごとに

細かいベルトの調整が発生します。

頻繁にウェーディングするなら  
便利ですが、そうでなければ  
むしろまた紐の方が  
面倒くさくないというわけです。

そして、

まず無いとは思いますが  
一応お話しておきます。

**ウェーダーでシーバスフィッシングを  
していてフローティングベストを  
装備していない、又は意味のない  
装備の仕方をしている場合は**

**落水転倒して流されれば助かりません。**

あなたはもしかして

普通に水面に頭をだせると

考えていないかな？

ウェーダーと言うのは

水を通しません。

そしてタイトのようにピッタリと

身体に密着しているわけではないです。

何が言いたいかというと

**ウェーダーの中には落水した時、**

足と空気が入っているんです。

普通の状態で落水すれば

こういう状態になります。



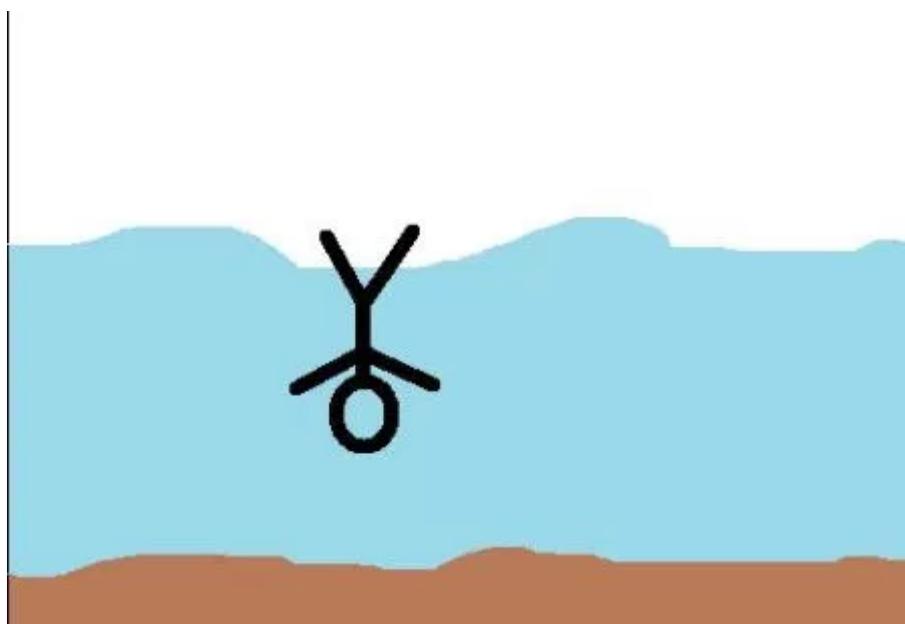
ですが、ウェーダーを履いて

落水した時にはこうなりません。

なぜなら、足には

空気が入っているから。

極端な分かりやすい画像で  
説明するとこういう感じに  
なると考えて頂いて大丈夫です。



手を使って水を掻けば頭を  
出すことは出来ませんが、  
そんなに長くは持ちません。

そして、そんなヤバイ状態で  
冷静に考えて、

大きく息を吸い込んで止めてから  
ウェーダーと下に履いているものを  
全て脱いで泳いで上陸するという  
判断をくだせる人は実は少ない。

**普通はパニックになって溺れます。**

そして実は**足が付くような  
場所でも溺れます。**

腰くらいまで浸かって転倒したら

足が浮いてしまうので、地面に  
足を着けるのは簡単ではありません。

つまり、ウェーダーを履いて  
ベストを着ていない場合は  
足が付くような場所でも溺れて  
しまうんです。

**フローティングベスト**は  
必ずキッチリと正しく  
装備してくださいね。

**他の誰でもない  
あなたのために。**

## 【ライト】

これは暗い時間帯に釣りをする  
時に必要です。



もちろんウェーディングに限らず  
他の釣りでもそうです。

ですが、ウェーディングをするときは

必ず、頭、首、ベストなどに

装着できるものを選んでください。

なぜならウェーディング時は特に、

直接あなたの手で持つ道具を

少なくしたほうがいいから。

まわりが全部、水面なので

どこにも道具を置く事ができません。

だから、ほとんどのアイテムを

身体に装着する必要があります。

## 【フラッシャー】

コレもライト。

ですが、こちらはライトと

言っても点滅灯の事。



夜のウェーディングでは

水の中で立ち込んで釣りをしていると

他の陸っぱりアングラーからは

ほとんど見えません。

そう、

居ることに気が付かないんです。

そして、そのままあなたの後ろで

釣りを始める・・・。

どういう事か、分かりますね？

そうです。

**あなたに向かってルアーなどが  
飛んできます。**

コレがまた厄介で、  
ルアーというのは飛行姿勢の  
悪いものでなければ尻尾の方が  
前を向いて飛んできます。

そして、ルアーの尻尾というのは  
たいがい尖っています。

だから、あの勢いで飛んで来ると  
刺さります。

そのうえ、その付近にはフックが  
付いていてフッキングします。

釣り人が釣り人を釣るという  
笑えない状態に陥ります。

そしてルアーというのは  
**その攻撃力もなかなかのもの**で、

当たりどころが悪ければ

意識をなくして

そのまま海のもくずとなります。

海の恵みであるモズクでは

ありませんよ。

あなたがそうならない為にも

他の釣り人の為にもフラッシャーは

必ず装着してくださいね。

基本的には身体の背面、

ランディングネットをぶら下げる

ところに着けるのが

発見されやすいです。

本当は、身体の前にも  
あった方がいいんですが、  
まずは後ろだけで大丈夫です。

干潟とかで無ければですが。

干潟の場合はあなたの前や横にも  
釣り人が居る可能性があるし、  
360度キャスト可能なので身体の前にも  
フラッシャーが必要です。

そう、  
前から飛んでくる事もあるんです。

いや～、危険ですね。

## 【エイガード】

こちらはアカエイの攻撃から  
あなたの足を守る防具です。

干潟や河口付近ではアカエイが  
多いので、こちらも用意して  
おいたほうがいいアイテムです。

インナータイプ、いわゆる  
ウェーダーの中に装備するものと、

外付けタイプ、ウェーダーの

外に装備する物があります。

アカエイは淡水がきつくなると  
ほとんどいなくなるので  
河川のギリギリ汽水域みたいな  
場所には居ません。

これは多分、  
エイの身体が泳ぐことに  
特化していない為だと思われます。

ここで一つ基本なんですが、

ウェーディング時に

水の中を歩くときは

すり足で歩くというものがあります。

この理由は大きく分けて2つ。

一つは先にアカエイの方に

あなたの存在を気づいてもらうため。

もう一つは、

実は水中にはトラップが

仕掛けられています。

な～んてね。

コレは大げさですが、

水中には意外に障害物が多いんです。

例えば、杭が打ってあったり、  
大きな石が落ちていたりします。

そして、落とし穴もありますね。

これは一部だけ柔らかくて  
踏むとズボッと足が沈んでしまう  
場所の事です。

アカエイやこういったトラップを  
避ける為にも、すり足で歩く事を  
オススメします。

## 【ウェーディングスタッフ】

エイガードを持っていないなら

ウェーディングスタッフがあると

便利です。



コレはいわゆる“つえ”で、

あなたの進行方向を突っつきながら

水中を歩くアイテムです。

アカエイに当たるか近くに

刺されば逃げていくし、障害物や

落とし穴を早い段階で発見できます。

欠点は疲れること。

エイガードかウェーディング

スタッフのどちらかを

持っていた方がいいですね。

**【ホイッスル】**

これは必須ですね。

**もしもの時に何か起こった事を  
遠くに知らせる事が出来る笛**です。

声では届かないようなところまで  
音が届きます。

大体はゲームベストに付いていて  
**シーバスアングラ―中級者なら  
すぐに「何かあったな」と気づいて  
確認しに来てくれます。**

近くにシーバスアングラ―が  
居なくても、例えば流された時に

ホイッスルを持っていると、

通りすがりの人などにも

簡単に存在に気が付いてもらえます。

ですが、最近は付いてない

ゲームベストもあります。

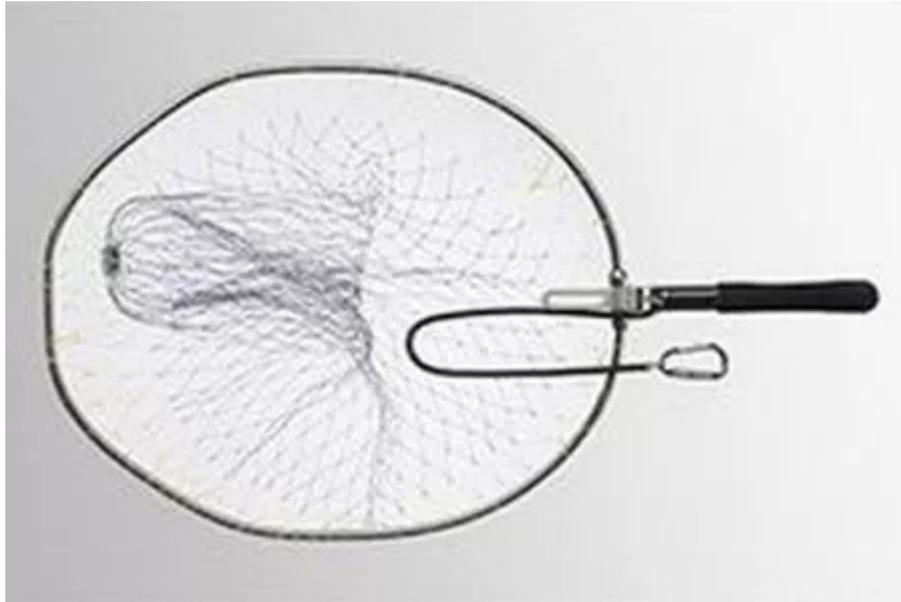
確認して無ければ入手しておく

事をオススメします。

### **【ウェーディングネット】**

これはかさばりますが、

あると便利で安心なアイテム。



フィッシングクリップでも  
ウェーディング時なら  
ランディングが可能です、  
**ウェーディングネットの  
方が安全**です。

ランディングとは  
魚の取り込みの事。

ウェーディング時にフィッシング  
クリップでランディングするのは  
慣れていないと結構危険。

なぜならシーバスを寄せてきたとき、  
その口にはルアーが付いています。

そしてそのルアーにはフックが。

つまり、ウェーディング時の  
シーバスの取り込み中は  
あなたの足のまわりを  
ルアーフックが縦横無尽に  
泳ぎまわっているんです。

慣れないうちはこのフックが  
あなたのウェーダーを  
つらぬく事があります。

でも、  
ウェーディングネットなら  
その危険を最小限に抑えてくれます。

そして、**大型のシーバスが**  
**釣れた時も勝率が高くなります。**

以上がウェーディング時に必要な  
アイテムとウェーディングの  
始め方でした。

いや～、長かった。

話が長くてすみません。

こうやって読んでみると

悲惨なことばかり書かれていますね。

ろくな事、書いてない……。

でも大丈夫。

シーバスフィッシングは楽しいよ～。

それでは、また。

グッドラック！

【参考記事】

しんがライブ・オブ・シーバスと言うブログを

立ち上げた理念、その野望とは？

[www.seabass-live.link/?p=350](http://www.seabass-live.link/?p=350)

シーバスとは？釣りに行く前に知っておいたほうが  
いい秘密。

[www.seabass-live.link/?p=443](http://www.seabass-live.link/?p=443)

実釣編記事を書くにあたってのシーバスルアーの  
種類別解説と使い分け。

[www.wp.me/p6NdM5-9y](http://www.wp.me/p6NdM5-9y)

シーバスフィッシングで爆るための  
ホームフィールドの決め方！

[www.seabass-live.link/?p=458](http://www.seabass-live.link/?p=458)

最初にマスターすべきリーリング、リトリーブ、

つまり引き方の基本。シーバスを始めるあなたへ。

[www.wp.me/p6NdM5-8I](http://www.wp.me/p6NdM5-8I)

【しんのメルマガ】

[www.wp.me/p6NdM5-ce](http://www.wp.me/p6NdM5-ce)

【お問い合わせ】

[www.tinyurl.com/nra5bar](http://www.tinyurl.com/nra5bar)

【ブログ **ライブ・オブ・シーバス!**】

[www.seabass-live.link/](http://www.seabass-live.link/)